

平成29年度 地方創生拠点整備交付金事業の実施結果

1 事業名	男鹿市複合観光施設整備事業							
2 事業の背景・目的	<p>【背景】</p> <p>男鹿市は、美しい自然景観を生かした観光施設整備に努めるとともに、昭和48年には1市単独での国立公園の指定を受けるなど、日本有数の観光地となっており、市では基幹産業である観光産業を総合戦略産業と位置付け各種施策を講じてきたところであるが、観光客の旅行形態の変化（団体旅行を中心としたものから個人・小グループ主体へ）や、年間の観光入込客数がピーク月（8月）の5割未満の月が大半を占めていることなどから、これらに対応する観光地づくりや誘客対策が必要となっている。</p> <p>【目的】</p> <p>豊かな地域資源の活用や農工商連携を通じた高付加価値の創出を促進し、交流人口の拡大と地域活性化を図る。</p>							
3 事業の概要	男鹿半島周遊観光の玄関口であり、鉄道利用者の利便性も高いJR男鹿駅周辺に、産業振興の拠点として複合観光施設を整備し、市内関係団体（農業協同組合、漁業協同組合、商工会、観光協会等）、民間事業者、地元金融機関、市等の出資により設立する株式会社を運営主体とする自立した経営の下、観光客や地元住民に、男鹿の新鮮な海の幸や農産物を提供する。							
4 交付金を充当する経費内容	交付金充当対象 建物新築工事/439,963,031円、付帯建物工事/11,826,000円 その他財源対象 外構工事/158,334,261円							
5 実績額	610,123,292円（うち交付金充当額 218,648,000円） ※地方創生拠点整備交付金事業関係分							
6 事業実績	複合観光施設の整備 建物 本体/1,377,54㎡、急速冷凍設備棟/125.5㎡、車庫棟/75.07㎡、ゴミ庫/4.96㎡ 計1,583.07㎡ 駐車場 一般車/147台、大型車/7台、車イス用/3台、二輪車/14台、管理用等/20台							
7 本事業における重要業績評価指標	項目		事業	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
			開始前	H29	H30	H31	H32	H33
	男鹿市における観光入込客数（万人）	目標値	174	183.7	193.4	203.1	212.8	222.5
		実績値		174.8				
	男鹿市における宿泊客数（万人）	目標値	12.9	15.9	17.7	18.9	19.9	20.7
		実績値		12.7				
複合観光施設の施設利用者数（万人）	目標値	-	-	18.0	18.0	18.9	19.7	
	実績値							
8 成果・課題	地方創生に効果があった							
9 事業の地方創生への効果	<p>市内関係団体（農業協同組合、漁業協同組合、商工会、観光協会等）、民間事業者、地元金融機関、市等の出資により設立された株式会社（指定管理者）による自立的な経営のもと、行政や地域の民間事業者との連携により、地域資源を活用した加工品の継続的な開発及び付加価値の向上、販売品目の生産拡大、物販や飲食の提供の強化を通じて販売力の強化が図られており、平成30年7月1日の開業以来、平日・休日を問わず多くの観光客及び地元住民が来場している。</p> <p>施設においては、従来市場外で自家消費されていた海産物等が商品として販売されるなど、生産者の所得向上はもちろん、後継者の育成等、地域経済の活性化に寄与する取組が生まれているとともに、新たな雇用機会が創出され、定住促進にもつながるものと考えている。</p> <p>また、施設開業と同時期には、施設に近接するJR男鹿駅が施設により近い区域に移設・新築され、施設周辺の集客力が高まったことにより、周辺市街地の商店や観光スポットへの観光客の流入等、波及効果が生まれており、交流人口の拡大と地域活性化に寄与するものである。</p>							
10 実績値等を踏まえた事業の今後の方針について	<p>事業の継続</p> <p>来館者数の増による交流人口の増を図るため、行政及び民間の連携により、施設の魅力と知名度を高めるほか、地域事業者等との積極的な協働により地域経済の活性化に引き続き取り組む。</p>							